

こうさてん 第二十二号

発行 御宿新田区 広報委員会
代表 御宿新田区長 大森 紀行

来年度こそは…



今年には新型コロナウイルスの感染拡大と共にスタートしました。四月には「そのうち収まるだ

ろう」と楽観的に考えていたのですが、感染拡大は続き、ついに裾野市においても感染者が確認されるようになり、様々な行事・イベントが中止や規模の縮小を余儀なくされてしまいました。体育行事を始め、カルチャー教室や防災訓練なども中止にせざるを得ませんでした。中でも、「新田夏祭り」の中止は、実行委員はもとより、楽しみにしていた区民の皆様にとっても残念なことでした。昨年までの歴代の区長や夏祭り実行委員が進めてきた「宝くじ助成事業」の申請が認められ、助成金の交付を受け、足場を利用したステージや音質の良い音響設備、提灯用のコード等を購入しました。これらのお披露目も合わせ、

区長 大森紀行(下組)

盛大な夏祭りができると大きな期待をしていたのですが、「中止」という苦渋の決断をしました。実行委員の皆さんは、ぎりぎりまで開催の方法を探ってくれたのですが、「感染リスクをゼロにはできない」ということで、区としてやむなく中止という判断をしました。来年度は新しいステージ、新しい音響設備で盛大にやりたいものです。

やはりコロナの関係で着工が遅れた西組地先のニュータウン「ミライエート御宿」の造成が夏から始まり、来年度から分譲が始まります。

このような状況の中で、時々の状況を踏まえながらご理解・ご協力をいただいた役員の皆様及び区民の皆様にご感謝いたします。

「来年度こそは…」新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつ、役員の皆様にご期待したいと思っております。



ステージの組立をする夏祭り実行委員

コロナ禍での一年

子ノ神社当番世話人 草 克三(上一組)

区民の皆様には、日頃より子ノ神社の管理運営等に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年は、年度始めより新型コロナウイルス感染症の拡大が騒がれはじめ、裾野市、富岡地区での行事、イベント等の自粛ムードも広がりが子ノ神社の事業計画も再検討しなければならぬ状況となりました。

宮司、区執行役員、子ノ神社世話人と協議した結果、規模の縮小、簡素化を図り感染リスクをできる限り低減して関係者のみで、全ての祭儀を執り行わせて頂きました。

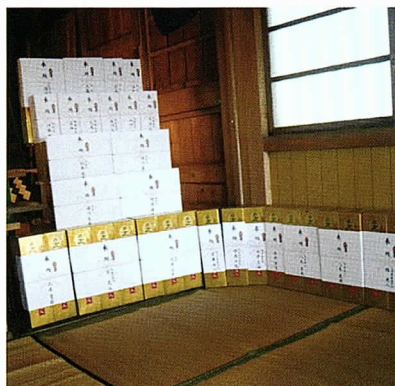
また本年は準備作業の大しめ縄製作等で、区執行役員、有志の方々にお手伝いを頂き、誠にありがとうございました。

コロナ禍での催事で、色々と反省点もありましたので、次年度に生かしていきたいと思っております。

子ノ神社の長い歴史の中で先輩諸氏より引き継がれた想いを断ち切る事なく、催事・祭儀を継続出来た事は大変うれしく、有難く思っております。令和三年度は氏神様のご加護により安全、安心の日常生活が送れる様、子ノ神社世話人一同、切に願っ

ております。

今後とも変わらぬご理解とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。



奉納酒



宮世話人と協議委員

御宿地藏尊について

八幡宮世話人

杉本隆一 (中一組)

今年度の御宿地藏尊の祭典は、規模を縮小して七月十九日に実施いたしました。御協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

言い伝えによると、御宿地藏尊の祭典の費用は、江戸時代に疫病の流行があったとき、尼僧が百日供養と托鉢で得たお金で田を取得し、その田(地藏田)から得た年貢で賄っていたそうです。

その後、御宿区による地藏田の売却を契機に、祭典は、昭和四十三年から御宿区が行うこととなり、昭和四十八年の小区制への移行に伴い、現在の五区の持ち回りとなりました。

地藏菩薩は、病氣、怪我、厄除け、安産、子育てなど、人々のあらゆる願いをかなえてくれる仏として信仰されてきました。皆様にも末永く大切にしてください。お願いいたします。



二尊堂前の地藏菩薩: 正徳3年(1713年)

「共助」の力

自主防災会長

野呂広道 (中二組)

今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、たくさんの方々が中止となりました。そんな中、どうすればやれるのかということを考え、五月二十五日の緊急事態宣言解除を受けて再開することができました。方法としては組の人数を二つに分け、可搬ポンプ訓練と消火栓訓練の分散実施という形をとりました。

残念ながら実施できなかった組もありましたが、備えあれば憂いなしです。災害はいつ起きるかわかりません。できる準備を進めてまいりました。念願のインバーター付きの発電機も購入することができました。

これからも、「共助」の力を大切にした御宿新田区でありますよう区民の皆様のお協力をお願いいたします。



新兵器: インバーター発電機

カルチャー教室開催断念

カルチャー担当協議委員

有澤広志 (北一A組)

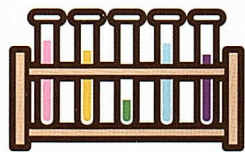
令和二年度は、新型コロナウイルスに振り回された一年間でした。

年初計画では、例年通り二回のカルチャー教室(健康講座とサイエンス教室)の開催を目指していましたが、サイエンス教室では、はやぶさ2のトークライブ講演を市との共催で提案しましたが、年度末の遅い時期となるため、断念。

健康講座も、骨密度測定と歯のお話を七月開催で三月から準備を進めたものの、コロナ感染第一波の拡大で中止を決定。

その後、第一波が収まり傾向となったので、もう一度講座を十二月実施で再計画し、参加者募集及び詳細実施要領も練り上げていきましたが、第三波で市内の感染者発生もあり、開催一週間前に中止をせざるを得なくなりました。

参加を予定していた方々には、申し訳ありませんでした。来年度は、新型コロナウイルスも収まり、楽しいカルチャー教室が実施できることを切に願っています。



一年間を振り返り

子供会会長

加藤雅人 (西二組)

本年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、六月の初夏の集いの中止をはじめとして、様々な行事が中止になりました。自粛期間や、他県への移動の自粛など、子供たちにとって、楽しみにしていたことが制限される日々が続きました。

子供会としても、感染拡大の危険と子供の体験とのバランスを検討し、十二月のクリスマス会から、感染症対策し、活動を行いました。

十二月のクリスマス会では、バルーンアーティストの瞳さんをお招きして、バルーンショーを行いました。マスクを取らないようにお菓子をたべないことや、ソーシャルディスタンスを保つなど、例年と違うこともたくさんありましたが、子供たちをはじめとして大人も一緒に、ショーを楽しむことができました。

感染症対策や活動の自粛など、今までとは違うことが多い一年でしたが、今年度も、子供会の活動にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。

来年度も引き続きご協力よろしくお願ひします。



Jingle Bell Rock

感謝と協力

ゴミ減量推進協議委員 湯川久信(上一組)

区民の皆様方には、日頃よりゴミ減量活動にご協力頂き有難うございます。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、春・夏の河川道路一斉清掃が中止となりました。

その様な状況の中、資源ゴミの回収は中止することなく、実施出来ていません。回収当番の方は、マスクを着用しての対応となりましたが、ご協力を感謝致します。

次に、裾野市ゴミ推進事務局から『食品ロス削減への取り組みにご協力を』についてお伝えします。

令和元年十月、食品の削減に関する法律が施行されました。

市は、買い物に出かける時や料理を作る時は、次の点に気を付けて下さいとあります。

一、買い物に出かける前に、冷蔵庫を確認する。

二、ばら売り、量り売りを利用して必要な分だけ購入する。

三、週に一回は「冷蔵庫一掃デー」(消費期限が近い食材を使い切る日)を設定する。

四、自分が食べきれぬ量(適量)を見つめる。

五、家族の予定を把握し、必要な分

だけ料理を作る。

六、いつも捨てていた部分を工夫して、食材を使い切る。

七、使い切り、食べきりを意識して食材の保存方法を工夫する。

「市事務局資料抜粋」
今後ともご協力を宜しくお願い致します。



コミセン事務局

コミセン事務局長 武藤祐二(北二組)

今年度初めて区の役員として活動することになりましたが、周囲の方々のご協力を頂きながらやっていくことができました。

事務局長の業務はコミセンの維持・管理及び、コミセン利用の予約管理。また、コミセンの防火管理者としての業務も含まれます。

コミセンは築三十八年が経ち、各部劣化が進んでいる為、今後建て替えを行うことになりましたが、それまでは現状のコミセンを使用し続けることとなります。事務局及び毎月清掃をお願いしている区民の方々のご協力を得てコミセンをきれいに使用していきたいと思えます。

今年度はコロナの影響により、コミセン利用回数が前年に比べ減少していますが、来年度はコロナ感染症が収まり、活発にコミセンを利用されることを切に願います。

最後に区長、役員の皆様にご協力頂き、感謝申し上げます。



リニューアルを待つコミセン

令和二年を振り返り

体育委員長 永井育海(西三組)

区民の皆様には、今年度の体育行事にご理解とご支援を頂き誠にありがとうございました。

しかしながら、今年度は年度初めより、新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響で、事業計画にあった行事が全て中止となると言う前代未聞の事態となってしまいました。

体育委員としての初回イベントでもある顔合わせすら出来ない状態であり、区民の皆様はもちろん、各地区の体育委員とも一度も顔を合わせる事なく本年度が終了してしまつた事は非常に残念でなりません。

現時点では来年度の体育行事がどのような運営になるか判りませんが、体育施設も少しずつではありますが開放されて来ています。

今まで通りとはいかないまでも、もし体育行事が企画された際には区民の皆様のご支援とご協力をお願いすると共に多くの皆様に参加頂けたら幸いです。



一年を振り返って

防犯灯担当協議委員

山田 昭 (西三組)

協議委員初年度は防犯灯担当として活動を行ってきました。今年度、活動は、各組長さんから提出された要望申請は一件(新設)五月中旬に市へ届出しました。当初、防犯に関する期待しましたが、市からの九月下旬に回答書を受領しました。回答は、評価Cランク・内容は『現地確認しましたが、要望箇所の東西に既設の防犯灯があるため、補助認可要件を満たしません。』という内容でした。今後、区として真剣に対応していきたいと考えております。

又、今年度は異常気象の為、台風や落雷が発生し、防犯灯の器具破損を危惧しましたが、幸いにして被害はゼロでした。

尚、不点灯を発見された方は、组长を通じ担当協議員へ情報提供を引き続きお願いします。

一年間ご協力頂きありがとうございます。



今年度を振り返って

街づくり・道路担当協議委員

飯田又基人 (北五組)

今年度、各組長さんより提出された要望書は七件でした。

要望書内容は道路拡幅一件、下水道蓋の段差補修一件、道路穴補修一件、側溝改修及び蓋設置二件、行き止まり標示版位置変更一件、黄瀬川中州の岩盤削岩二件、これらは区民の皆様が安全に、より快適に生活出来るようにとても重要な事と思います。

これらの要望の回答には市役所、警察所の判断によつては数年かかる案件もありますのでご承知下さい。

回答の評価については、A A、A、B、C、Dの五段階に区分(Cは実施困難、Dは市では実施出来ない)されています。

本年度は、道路穴の補修と前年度からも要望のありました土屋商店前の道路側溝改修工事が実施されました。

A A、B段階については来年度も継続して要望していく事が重要と考えています。

ので宜しくお願います。

一年間ご協力ありがとうございました。



土屋商店前道路側溝

今年の育成委員の活動

青少年健全育成員

佐々木沙織 (北四組)

子供を健全に育成する為の環境づくりのお手伝いとして、親子での地域清掃や祭りや体育祭などの地域行事へ参加させていただく予定でしたが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大の為、年内の予定は殆ど中止に変更されました。

夏は新型コロナウイルスの感染者数が一度増加したものの、九月、十月と少しずつ落ち着きを取り戻し始め、十月に今年初めての育成委員会が開かれ、役員の方々と顔合わせする事ができました。十一月三日にはふるさと再発見運動として「カントリーウォーク」を予定していたので、コースの説明や人数把握などの準備を進めました。前日の天候に恵まれず、当日の天気は良かったのですが、岩場などの足場が不安定な為、やむを得ず中止となり、参加者には御迷惑をおかけしました。

カントリーウォークは中止になってしまいました。イベントで使う、冊子やお菓子の準備をしていただき、役員さんには感謝しています。

地域活動が出来ず、悔いの残る結果となってしまいました。一年間ご指導いただきありがとうございます。

感謝 そして お疲れ様でした

三月退任の執行役員の皆様

氏名 令和二年度役員

- 大森 紀行様 区長
- 白鳥 久男様 会計
- 飯田又基人様 協議委員
- 岩田 進様 協議委員
- 大庭 正敏様 協議委員
- 武藤 祐二様 コミセン事務局長
- 野呂 広道様 自主防災会長
- 永井 育海様 体育委員長
- 伊藤 勝男様 相談役

編集後記

記事を投稿してくださった皆様、ありがとうございます。

文面の端々よりコロナ禍の下、大変なご苦労だったと推察されます。「止まない雨はない」の例えを信じ、次年度に期待しつつ今年度の締め括りとさせていただきます。

新田タイムス担当協議委員

大庭正敏 (下組)

